スポーツ方法実習（レクリエーション）

科目ナンバリング　ESS-215
選択　　1単位

大橋　信行

1. 授業の概要（ねらい）

レクリエーション支援をするための基礎的な能力であるアイスブレーキングやホスピタリティ・グループワークトレーニングについて実践的に理解し、また子ども同士や親子・家族で出来るあそびやゲーム・スポーツ・クラフトなどを理解する。

2. 授業の到達目標

「スポーツ方法実習（レクリエーション）」では、自らのコミュニケーション能力を高めるためのホスピタリティトレーニングや、人と人をつなげるためのコミュニケーションワークを学習すると共に、人々の交流を促進させるためのレクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域での親子のふれ合い等を目的としたレクリエーション事業を、積極的に支援・指導・企画ができる能力や態度を育成することを目標とする。

地域などでの懇親を目的としたレクリエーションや学校内でのレクリエーション事業を積極的に支援・指導・企画ができる能力や態度を育成することを目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

1. 授業への参加意欲・態度　50点
2. 授業内容の理解 30点
3. 指導技術演習の状況 30点等で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
『楽しさをとおした心の元気づくり』　公益財団法人日本レクリエーション協会、2017年
『レクリエーション支援の基礎』　公益財団法人日本レクリエーション協会、2008年
『やさしいレクリエーション実践』　公益財団法人日本レクリエーション協会、2005年

5. 準備学修の内容

この授業はレクリエーション活動を通して、人とのつながりを学ぶ授業である。従って予習・復習は、授業で学んだコミュニケーション技術等を実践し、その結果どのようにコミュニケーションが変化した（しない）のか体験的に学び、その結果（なぜ変化した・しなかった）をまとめる（復習60分）。

翌週の内容については、プリントを配布するので、書籍やインターネット等で調べてまとめておく（復習60分）。

6. その他履修上の注意事項

この授業はレクリエーションの基礎資格である「レクリエーション・インストラクター」資格取得希望者を対象とした授業でもある。

「レクリエーション・インストラクター」の資格取得方法については、授業の中でも説明するが、学生便覧にも記載しているので、それもよく読んでおくこと。

※資格認定を希望する学生はすべての授業に出席すること。

7. 授業内容

【第1回】　授業ガイダンス（資格取得のためのガイダンス）（レクリエーション支援の方法）
【第2回】　コミュニケーション・ワーク1（協力ゲーム）（レクリエーション活動の習得）
【第3回】　コミュニケーション・ワーク2（トロプス）（レクリエーション活動の習得）
【第4回】　コミュニケーション・ワーク3（チーム対抗ゲーム）（レクリエーション活動の習得）
【第5回】　レクリエーション・スポーツ1（チャレンジ・ザ・ゲームの実技（ロープ、スティック））（レクリエーション活動の習得）
【第6回】　レクリエーション・スポーツ2（チャレンジ・ザ・ゲームの実技（ネット、ボール、ゴム）（レクリエーション活動の習得）
【第7回】　イニシアティブゲーム1「日本列島」他（レクリエーション活動の習得）
【第8回】　イニシアティブゲームの2「ラインナップ」他（レクリエーション活動の習得）
【第9回】　イニシアティブゲームの3「エレクトリックフェンス」他（レクリエーション活動の習得）
【第10回】　レクリエーション・スポーツ3（スポーツテンカ）（レクリエーション活動の習得）
【第11回】　レク・ダンス1（みんなでストレッチ）（レクリエーション活動の習得）
【第12回】　レク・ダンス2（ビューティフル・サンデー）（レクリエーション活動の習得）
【第13回】　レクリエーション支援実習1（レクリエーション支援の実施）
【第14回】　レクリエーション支援実習2（レクリエーション支援の実施）
【第15回】　レクリエーション実習の振り返りとまとめ（レクリエーション支援の方法）